

ケース6 細かすぎさん 筋つかめない まとまんない

筋つかめない
まとまんない

情報は集めた
~けど~

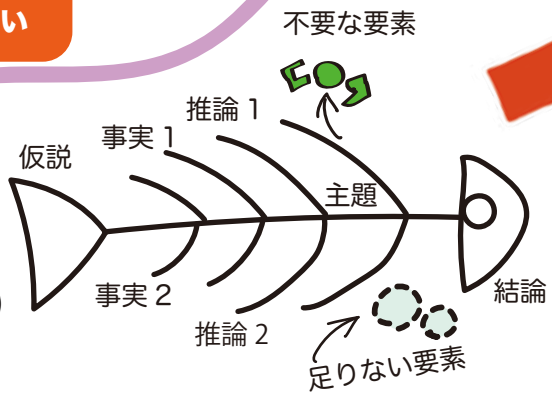
細かい
ところが
気になって

細かいところが
気になって
まとまらない

いいこと
書いてある所もある
けど、結局
何を言いたいのかわ
つかめないよ

やっぱ
そうだね~
自分でも
そう思う

要素を
カタ(FOAM)
で構造化する



例えば
フィッシュボーン*
というカタに
当てはめると

カタが
あるのか~

タイキか???

カタは
いろいろ
あるよ

カタで全体を
まとめることが
できた

グッド
ジョブ!!

チェンジ!!

これが
足りない

これは
要らないね

これとこれを
入れ替えよう

流れすっきり
全体がしっかり

分かり
やすい!!

*「フィッシュボーン」はもともと、1つの現象の原因を特定するための「特性要因図」として考案されたもので、理解しやすいところから論文などの構造にも応用されるようになった。魚の骨の形をしていることからそう呼ばれる。

細かすぎさんは細かいことがいつも気になり、大まかな全体像を把握するのが苦手。主題と細部が混在していて、自分でも何が言いたいのかわからなくなることがありました。

しかし書きたいことを「カタ」に当てはめると、構造が明確になり、不要な要素や足りない部分が整理され、論理の筋もきれいに通り、誰にとっても分かりやすいレポートになりました。